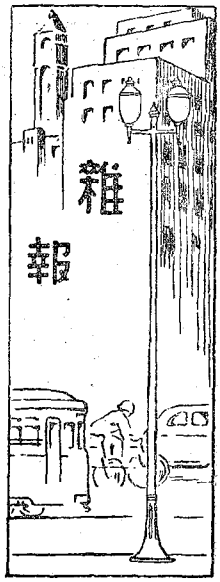

◎藤井、細田兩本會幹事の視察旅行

土木試驗所長技師藤井眞透氏は滿洲視察の爲去九月二十八日東京を出發せられ十一月二十七、八日頃歸京の豫定である、又內務事務官細田德壽氏は、北支滿洲朝鮮各地視察の命を受け十月九日東京を出發せられ四月三十日歸京せらる豫定

◎內務省土木試驗所談話會

昭和十三年十月中に開催したる土木試驗所談話會に於ける談題は次の通りである。

第一七九回技術談話會話題（昭十三—十六號）

時日　昭和十三年十月十四日（金曜）午後二—四時

場所　本鄉區駒込上富士前町二六

內務省土木試驗所講堂

1. 物理地下探查法による相模川荒川橋架橋地點の岩盤位置調查（一時間）　島田技師

2. アフガニスタン國の事情に就て（一時間）　池本技師（土木局）

◎近刊圖書雜誌

○駿工（第一四卷九號、一〇號）

○都市問題（第二七卷四號）

（第六回全國都市問題會議總會主輯）

○東大陸（十月、十一月號）

○警察協會雜誌（第四六一號）

○セメント界彙報（第三六七號）

（ローマに於ける自動車軌道の試驗）

○電氣通信學會雜誌（第一八七號）

○三田學會雜誌（第三二卷九號、一〇號）

（9）奥井復太郎氏＝都市生活論。（10）增井幸雄氏＝道路運送費の分析と其の效用）

○汎交通（九月、一〇月號）

○土木建築工事畫報（第一四卷一〇號）

（關西特輯號）

○法律時報（一〇月號）

○土木學會誌（第二四卷一〇號）

（稻葉權兵衛氏＝ゲルバー構桁の突桁式架設に就て）

○乘合自動車（第一二卷九號）

（和田喜次郎氏＝東京に於ける交通統制の實際）

○水利と土木（第一一卷一〇號）

○石油時報（一〇月號）

○セメントコンクリート道路（五二、五三號）

（52近藤泰夫氏＝中北支道路走り歩る記、折坂理五郎氏＝千葉縣セメントコンクリート試驗補裝）

○港灣（第一六卷一〇號）

○技術日本（九月號）

○土木（第四五第）

○鐵道軌道經營資料（二一卷九號）

○自警（一〇月號）

○觀光聯盟情報（第二卷九號）

棉畑何處まで荒れて銃の音

黄昏るゝ夕映の雲、枯れ芒

月もなき秋の夜空の機影見る

月天心白線つきず蜿蜒と

紫外